



はなみずき

学校教育目標
「なぜだろう」
「これでよいのか」
「さあやるぞ」

全校朝会「^{ちり}^っ塵も積もれば山となる」



校長 鈴木克彦

今年度が始まって、約1か月が過ぎようとしていますが、子供たちは、新しい学級の仲間、先生との生活にも慣れ、学習や生活、高学年が委員会活動と楽しい、充実した日々を送っていると思います。今週末から、GW（ゴールデンウィーク）後半に入ります。健康・安全に気を付けて、4連休を満喫してほしいと思います。

5月5日（月）は、「こどもの日（端午の節句）」です。「こどもの日」と言えば、「こいのぼり」「兜飾り」「ちまき」「しょうぶ湯」など、それぞれに意味があるようです。GWで、日本に伝わる古くからの伝統・文化に触れながら、お休みを楽しんでほしいと思います。※校長先生は、「しょうぶ湯」を楽しみにしています。

さて、北小学校の皆さんが、休み時間に校庭で、「鬼ごっこ」や「ドッジボール」「鉄棒」「タイヤ跳び」など、元気に身体を動かしている姿をよく見ます。また、掃除の時間には、それぞれが決められた場所を、静かに掃除ができています。そこで、安全・安心で、もっと気持ちよい生活を送れるようにするために「塵も積もれば山となる」というお話をします。

「塵も積もれば山となる」ということわざには、「ごくわずかのものでも、数多く積もり重なれば高大なものとなることのたとえ」という意味があります。小さなことでも、毎日こつこつと続けていけば、それがいつか大きなものになっていきます。学習面でも、「漢字の練習」や「計算問題」、「読書」など、一度にたくさんやることも大切ですが、無理をすると続かなくなることもあります。「一日、○文字練習する」や「○問、計算問題を解く」など、計画を立てながら、勉強ができるといいなと思います。



生活面では、皆さんが元気に遊び、体育の授業を行っている校庭で、小さな石や枝などが落ちているのを見かけます。そこで、休み時間や体育の授業が終わって教室に戻るときに、校庭に落ちている石や枝などを1人1個拾ってくれると50個、1週間で250個集まります。それを続けていければ、みんなが使う校庭に、「転んだときけがをするかもしれない 危ない」と感じるようなものが減り、なくなっていきます。※4月30日（水）の全校朝会でお話をした後、昼休みにはたくさんの石や枝が用意をした缶の中に集まっていました。北小学校のみなさん、ありがとう！



また、掃除の時間に教室や廊下などをみんなで掃除をしていますが、校長先生が歩いているとき、落ちている小さなゴミを拾うことがあります。これも、掃除の時間以外に、「1日1個ゴミを拾う」にみんなで取り組めると、1日で621個（全校児童621名）のゴミがゴミ箱に入ります。1週間で、3105個のゴミが集まります。

始業式で「当たり前のことを 当たり前」というお話をしましたが、「塵も積もれば山となる」のことわざのように、みんなで、「1日1個」を意識して積み重ねていくと、北小学校の校庭や教室、廊下など、皆さんが生活する場所が、安全できれいになっていき、みんなが気持ちよく生活できると思います。みんなで、「安全で、みんな大好きな北小学校」を創っていきましょう。